

「令和８年度全国学力・学習状況調査」の結果分析と対策について

行方市立麻生中学校

今年４月に３年生を対象に実施しました「令和８年度全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の結果の分析と対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

今後は、本調査結果の分析をもとに生徒の学力や生活習慣のさらなる向上を目指し指導を進めていきます。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【国語科】	〈分析〉 ・意見文を書くことについて、多様な考えに触れながら自分の考えを深めたり整理したりできるよう、他者と意見を交流する活動を取り入れたことで、複数の意見を取り上げながら考えをまとめる力が高まっています。 ・品詞がもつそれぞれの性質について、単語を適切に分類することに課題が見られました。 ・文章全体をいくつかに分けて整理したものの中から適切なものを選択する場面で、中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることに課題が見られました。 〈課題の改善に向けて〉 ・既習事項を繰り返し確認しながら類別問題に取り組む機会を増やし、助詞と助動詞の役割や活用への理解を深められるよう、繰り返し指導していきます。 ・段落の役割を捉えることができるよう、読み手を意識して文章を書き、段落メモを活用して文章全体の構成や各段落の役割を整理する活動を取り入れるなど、学習の進め方についての改善を図っていきます。
【数学科】	〈分析〉 ・関数分野において、基礎問題の反復や「表・式・グラフ」を関連付けた指導により、関数の値の変化の特徴を理解して正しく計算する力や、目的に応じてグラフを利用して理由を説明する力が高まっています。 ・作図や図形の性質について、合同の証明における仮定と結論を区別して条件を正しく選ぶことに課題が見られました。 ・データを比較して説明する場面において、二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目し、その意味を正しく捉えて説明することに課題が見られました。 〈課題の改善に向けて〉 ・第１学年の「基本の作図」と第２学年の「図形の合同」を結びつけた学び直しの機会を設け、仮定と結論を区別しながら、作図からわかる図形の性質を記号で表現する力を高めていきます。 ・複数の度数分布多角形を比較して共通点や相違点を見出す活動を取り入れ、グラフの形や位置関係に着目した比較の視点を共有しながら、根拠をもって説明する指導を充実させていきます。

【英語】	〈分析〉 ・自由記述問題において、与えられた題材や既習表現を生かし、理由も含めて適切に英文を書くことができています。授業中、スクール AI を活用して英文の作成や推敲を重ねたことが成果に表れています。 ・リスニング問題において、冒頭や終盤に聞こえた特定の表現のみに反応して判断してしまい、全体の順序や文章の主訴を正確に聞き取ることに課題が見られました。 〈課題の改善に向けて〉 ・まとまった英文を聞き、要点をまとめる学習を継続的にやり、主訴を的確に聞き取る力を高めていきます。 ・単に個々の文を聞き取るだけでなく、音声全体の内容や主訴を把握し、それを要約したり説明したりする活動を通して、概要や要点を的確につかむ力を養っていきます。
【質問紙】	〈分析・改善〉 ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」の項目に高まりが見られます。引き続き、「聴く つなぐ もどす」の対話的な学習活動を設定し、学習面だけでなく生活面においても自分の考えをもち、よりよく課題解決できるように努めていきます。 ・ICTを使って、「文書を作成する」「情報を収集する」「情報を整理する」「プレゼンテーションを作成する」ことができる生徒の割合が全国平均や県平均を上回っています。 ・平日1日あたり3時間以上スマートフォン等でSNSや動画視聴をしていると回答する生徒の割合が全国平均を上回っており、睡眠時間や家庭での学習時間の確保に課題があります。家庭学習について、目標や学年、学習内容に合わせた家庭学習の充実を図るとともに、ICTを活用した学習を推奨するなど生徒一人一人に合った学習について支援していきます。

ご家庭へのお願い

インターネットやSNS等の長時間利用は、健康被害や学習意欲の低下だけでなく、精神的ストレスやネット依存・トラブルなど多角的なリスクをもたらします。お子様と使用ルールを再確認し、正しい使用についてお声掛けいただきますようお願い申し上げます。